

平成30年度
工学部アドミッション・オフィス入試
(AO入試)

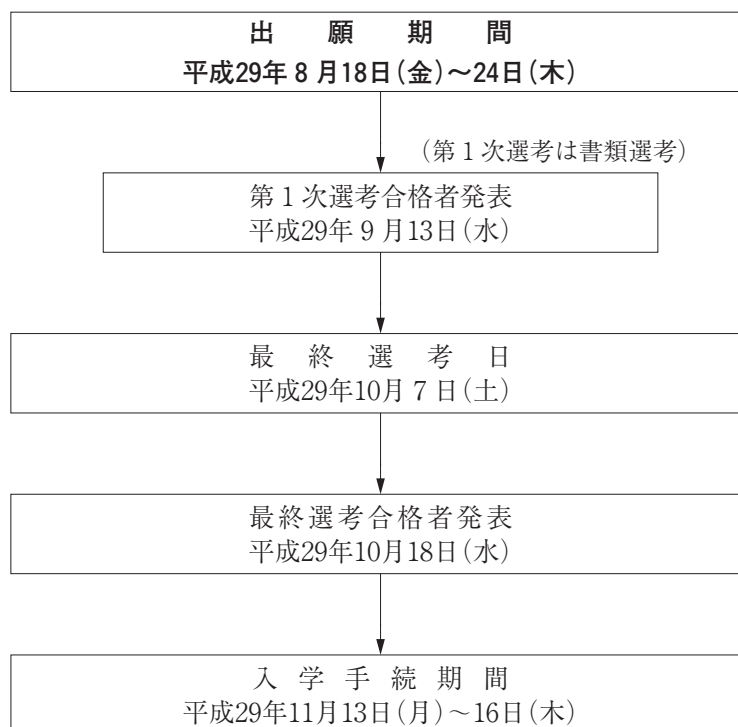
学生募集要項

平成29年6月

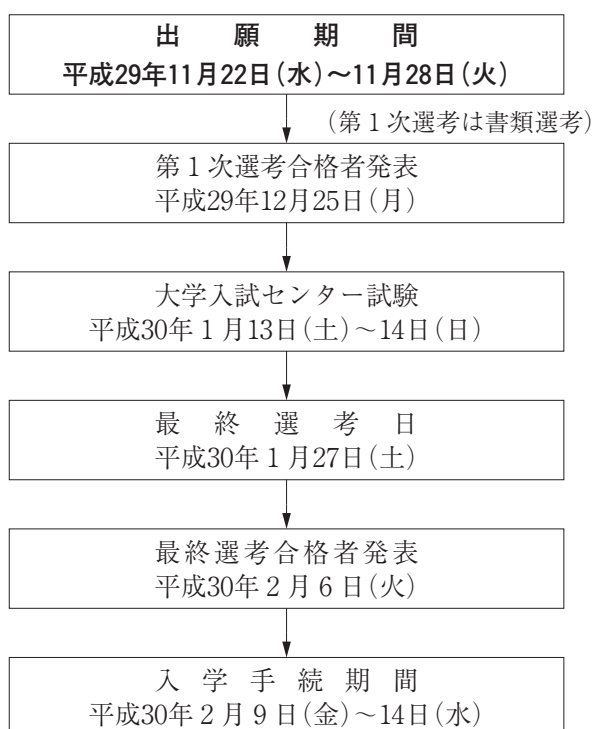


平成30年度 福井大学 AO 入試日程の概要

AO入試Ⅰ
(大学入試センター試験を課さない)



AO入試Ⅱ
(大学入試センター試験を課す)



〈注意〉

- ・本入試に関するすべての事項は、志願者本人がこの学生募集要項を熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。
- ・この学生募集要項以外に重要な通知がある場合は、本学ホームページの「受験生の方へ」内でお知らせします。
[福井大学ホームページ <http://www.u-fukui.ac.jp/>]
- ・電話での照会は、祝日及び年末年始を除く、月～金曜日の9:00～17:00に、学生募集要項を手元に置き、必ず志願者本人が行ってください。

目 次

I. アドミッション・ポリシー	
1. 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的	1
2. 求める学生像	2
3. 入学者選抜の基本方針	2
II. A O入試 I (大学入試センター試験を課さない)	
1. 募集人員, 出願資格・出願要件等	4
2. 出願手続	4
(1) 出願期間・方法	4
(2) 出願書類等	4
(3) 検定料の振込方法	5
(4) 障害のある入学志願者等の事前相談	6
3. 選抜方法等	6
(1) 第1次選考	6
(2) 最終選考	6
4. 合格者発表等	7
5. 入学手続	7
(1) 入学手続期間・方法	7
(2) 入学手続時に要する経費	7
(3) 留意事項	7
III. A O入試 II (大学入試センター試験を課す)	
1. 募集人員, 出願資格・出願要件等	8
2. 出願手続	8
(1) 出願期間・方法	8
(2) 出願書類等	9
(3) 検定料の振込方法	9
(4) 大学入試センター試験受験票の再発行申請者への注意事項	10
(5) 障害のある入学志願者等の事前相談	10
3. 選抜方法等	10
(1) 第1次選考	10
(2) 最終選考	11
(3) 大学入試センター試験の教科・科目・配点等	11
4. 合格者発表等	12
5. 入学手続	12
(1) 入学手続期間・方法	12
(2) 入学手続時に要する経費	12
(3) 留意事項	12
IV. 個人情報の利用	13
V. 入学志願者のための案内	14
VI. 学生募集要項等の請求方法	18

I. アドミッション・ポリシー

1. 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的

工学部では、グローバルな視点で夢を描き、それを形にできる技術者を「グローバルイマジニア」と呼び、人材育成の基本コンセプトとしつつ、安全で安心な社会の創造のための基礎的な知識・教養、幅広い専門知識に裏打ちされた高度な専門能力に加えて、歴史や文化、習慣の違いを超えて世界の人々と協働し、倫理観を持ち主体的に行動できる総合的な能力を持つ技術者・研究者を養成する。また、工学部では、安全で安心な社会の創造に寄与することを目的に、広く工学全般にわたって教育研究を行い、その成果を社会に還元する。

工学部各学科の目的は、以下のとおりとする。

機械・システム工学科	多種多様な革新的機械・システム技術の創造に貢献し、ものづくりを通して、安全で安心な社会の構築と持続に貢献できる人材を養成する。
電気電子情報工学科	電気工学から発し、歴史とともに拡大・細分化してきた通信工学、半導体工学、計算機工学、情報工学の学問分野を電気系（連続系）と情報系（離散系）で分割した従来の2学科体制を改めて一学科に統合することで、電気系、情報系の学問基礎の体系的な習得と両分野に跨る分野横断的な応用力と実践力を有する人材を養成する。
建築・都市環境工学科	これまでの建築建設工学科を継承、発展させて建築・都市環境工学科とし、長年にわたり培われてきた建築と土木の専門性に根差しつつも、新たに顕在化しつつある課題すなわち社会基盤施設の維持管理や保全、国土の強靱化、少子高齢化社会への対応、環境調和型の生活空間の構築等に即した教育内容に改善し、安全で安心な社会生活環境の実現に貢献する実践力ある人材を養成する。
物質・生命化学科	物質の構造や性質、その反応に関わる法則などを探究する「物質化学」、生命現象を化学の視点から解明する「生物化学」、物理法則を基礎として材料を取り扱う「材料工学」に関する専門知識を教育する。さらに、繊維をはじめとする高性能・高機能材料の創製や関連科学技術の開拓、医学・工学の融合分野へのバイオテクノロジーの展開などを通じて身につけたスキルや知恵、高い倫理観を駆使し、人類の健全な生活と持続可能で豊かな社会の実現に向けて、地域社会から国際社会の様々な分野において活躍できる人材を養成する。
応用物理学科	工学の幅広い分野に対応できる確固とした理工学の知識・思考方法・应用能力を修得するとともに、総合的な実践力や産業関連知識を自ら学び、課題解決につなげる力、グローバルな行動力、倫理観を身につけた物理を中心とした基礎科学を応用展開できる人材を養成する。

2. 求める学生像

(1) 学部共通

1. グローバルイマジニアとして地域社会や国際社会に貢献する強い意欲を有する人
2. 高等学校教育またはそれに準ずる教育課程において、理工学分野の基礎となる知識及び実践力を習得している人
3. 正確な文書読解，論理的な記述，適切な表現などの基本的な言語運用能力を有する人
4. 豊かな人間性，周囲との協調性，奉仕の精神を有する人

(2) 各学科

機械・システム工学科	<p>「人と地球を支える機械・システム技術にイノベーションを」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 機械・システムエンジニアとして，ものづくりにより社会に貢献する意欲を有する人 2. 機械・システム工学分野の基礎となる数学や物理の知識を習得している人 3. 正確な文書読解，正確な言語表現などの基本的な言語運用能力を有する人 4. 柔軟な発想力，周囲との協調性，自ら考え・行動する主体性を有する人
電気電子情報工学科	<p>「電気・電子・情報分野の伝承と創造は君の手で」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 電気，電子，コンピュータを学ぶための数学や物理の基礎学力を有する人 2. 論理的思考力を問題解決に活かすことができる人 3. チャレンジ精神を持って地域社会や国際社会に将来貢献する強い意欲を有する人
建築・都市環境工学科	<p>「建築・都市・社会基盤をデザインし，豊かな地域・環境を創造する」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 建築・土木技術者として地域社会・環境の持続的発展に貢献する強い意志を有する人 2. 高等学校教育またはそれに準ずる教育課程において，建築・土木分野を学ぶ基礎となる知識及び実践力を修得している人 3. 正確な文書読解，理論的な記述，図解を交えた適切な表現などの言語運用能力を有する人 4. 豊かな人間性，周囲との協調性をもって課題解決に向けて考え行動できる人
物質・生命化学科	<p>「創造する化学にチャレンジ！」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 化学・物理・生物のうち2教科以上の基礎学力を有する人 2. 地域社会や国際社会に貢献する意欲を有し，周囲と強調して主体的に行動できる人 3. 日常の物事や現象を論理的に思考でき，それらを正確に記述・表現できる人
応用物理学科	<p>「先端科学技術を支える物理学の世界へ」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 物理や数学に基づいて，ものごとを基本に戻って考える能力を有する人 2. 先端科学技術分野への強い興味を有し，将来，グローバルイマジニアとして活躍する意欲を有する人 3. ものづくりや実験の基礎となる知識・技能を有する人

3. 入学者選抜の基本方針

【一般入試（前期日程）】

機械・システム工学科 電気電子情報工学科 応用物理学科	大学入試センター試験（5教科7科目）により基礎的学力を総合的に判定する。さらに個別学力試験（数学，物理）により，数学と物理に関する標準的な知識と理解に基づいて論理的な思考を展開し，それを記述する能力を判定する。
建築・都市環境工学科 物質・生命化学科	大学入試センター試験（5教科7科目）により基礎的学力を総合的に判定する。さらに個別学力試験（数学，物理又は化学）により，数学と物理又は化学に関する標準的な知識と理解に基づいて論理的な思考を展開し，それを記述する能力を判定する。

【一般入試（後期日程）】

機械・システム工学科 電気電子情報工学科 建築・都市環境工学科 応用物理学科	大学入試センター試験（5教科7科目）により基礎的学力を総合的に判定する。さらに個別学力試験（数学）により、数学に関する標準的な知識と理解に基づいて論理的な思考を展開し、それを記述する能力を判定する。
物質・生命化学科	大学入試センター試験（5教科7科目）により基礎的学力を総合的に判定し、さらに面接（口述試験を含む）により、学習意欲、チャレンジ精神、論理的思考力等を判定する。

【AO入試Ⅰ】

電気電子情報工学科	大学入試センター試験は免除するが、第1次選考では書類審査により、文章力や自己アピール力等の判定及び提出された調査書等に基づく基礎的学力の判定を行う。最終選考では面接（口述試験を含む）により、目的意識・意欲、表現力等の判定及び理数系科目の学力判定を行う。
建築・都市環境工学科	大学入試センター試験は免除するが、第1次選考では書類審査により、文章力や自己アピール力等の判定及び提出された調査書等に基づく基礎的学力の判定を行う。最終選考ではプレゼンテーション、ディスカッション及び面接（口述試験を含む）により、目的意識・意欲、表現力等の判定及び理数系科目の学力判定を行う。

【AO入試Ⅱ】

機械・システム工学科 電気電子情報工学科 建築・都市環境工学科 物質・生命化学科 応用物理学科	第1次選考では書類審査により、文章力や自己アピール力等の判定及び調査書等に基づく基礎的学力の判定を行う。最終選考では、大学入試センター試験により基礎的学力を総合的に判定し、さらに面接（口述試験を含む）により、目的意識・意欲、表現力等の判定及び理数系科目の学力判定を行う。
---	---

【私費外国人留学生入試】

全 学 科 共 通	日本留学試験及び TOEFL の成績、並びに、面接、口述試験（簡単な筆記試験を行う場合もある。）及び出願書類により、日本語能力と理数系科目の学力判定を行う。
-----------	--

Ⅱ. A O 入 試 I (大学入試センター試験を課さない)

1. 募集人員, 出願資格・出願要件等

学 科	募集人員		出願資格・出願要件
	①	②	
			高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は平成30年3月に卒業見込みの者、かつ、下欄に該当する者で、出願する学科での勉学を強く希望し、合格した場合は入学を確約できるもの
電気電子情報工学科		5	普通科、理数科等以外の者。数学（数学Ⅲを含む）、理科（物理・化学）、外国語（特に英語Ⅱ）の科目に関係が深い科目を学んでいることが望ましい。
建築・都市環境工学科		5	普通科、理数科等以外の者。数学・理科・英語に関する十分な学力を有し、文系・理系の幅広い科目に関心をもつ者
合 計		10名	

- 注1) 選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。
 2) 入学手続き数が募集人員に満たない場合は、一般入試（前期日程）からその不足分を補充します。
 3) 高等学校には、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程として認定した在外教育施設を含みます。
 4) 「普通科、理数科等」とは、高等学校設置基準第6条第1項に定める「普通科」、同条第2項第9号に定める「理数に関する学科」のことをいいます（同条第3項に定める「総合学科」で専門教育に関する教科・科目の修得単位数が20単位未満の者を含む）。

2. 出願手続

(1) 出願期間・方法

平成29年8月18日(金)～24日(木) 最終日17時までに必着

- ① 出願書類等は本学所定の封筒に同封のうえ、本学入試課へ郵送（書留速達）するものとし、出願期間最終日の17時までに必着するよう十分配慮し送付してください。ただし、期限後に到着した出願書類等のうち出願期間最終日の2日以前の発信局日付印のある書留速達郵便に限り受理します。持参による出願は認めません。
- ② 郵便局で交付される書留郵便受領証等は、受験票が届くまで大切に保管してください。
- ③ 出願期間終了後に受験票を送付します。8月31日(木)までに受験票が到着しないときは、本学入試課に問い合わせてください。

(2) 出願書類等

※出願書類は黒又は青のボールペン書きとし、かい書で正確に記入してください。

*印は本学所定の用紙及び封筒

出 願 書 類 等	留 意 事 項 等
* 入 学 志 願 票	所定用紙に、必ず自書してください。
* 受 験 票 ・ 写 真 票	縦4cm×横3cmの写真（正面向き、無帽、上半身、無背景で出願前3か月以内に撮影したもの）を各1枚貼付してください。
* 志 願 理 由 書	出願する学科のアドミッション・ポリシーを理解したうえで、所定用紙に志願理由を800字程度にまとめ、記述してください。なお、「求める学生像」との関連性も記述してください。
* 自 己 推 薦 書	所定用紙に、出身学校等での生活について、自己PR、自己評価等を記述してください。

	調 査 書	文部科学省所定の様式により、出身学校長が作成し、厳封したものを同封してください。
*	検 定 料 振 込 受 付 証 明 書	17,000円と検定料振込依頼書を持参の上、最寄りの銀行等の窓口で納入し、納入時に発行される「 検定料振込受付証明書 」に「振込受付日付印」が押されていることを必ず確認し、入学志願票の所定の欄にしっかりとのり付けしてください。なお、検定料振込期間は 平成29年 8 月 7 日(月)～24日(木) です。詳細は、次の「(3) 検定料の振込方法」を参照してください。
*	返 信 用 封 筒	受験票等を送付する封筒です。 志願者の郵便番号、住所、氏名を明記し、362円分の切手を貼付してください。
*	あ て 名 票	第1次選考及び最終選考の可否通知等の送付に使用するので、出願後受信場所が変更となった場合は、速やかに連絡してください。

注1) やむを得ない事由により調査書が得られない場合は、出願資格を証明する書類及び単位修得証明書等をもって調査書に代えることができます。ただし、出願前に本学入試課に問い合わせ確認してください。

2) 出願書類等の受理後は、どのような事情があっても出願書類の返還及び記載事項の変更は、認められません。

3) 出願書類等に不備がある場合は、受理できないことがあるので十分注意してください。

4) 出願書類等の記載が事実と相違していることが判明した場合は、入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。

(3) 検定料の振込方法

- ① 検 定 料 17,000円
- ② 振込期間 平成29年 8 月 7 日(月)～24日(木)
* 出願期間とは異なります。
ただし、出願は郵送に限り、出願期間最終日17時までに必着であることに特に注意して早めに振り込んでください。
- ③ 振込場所 本学所定の振込依頼書により最寄りの銀行等の窓口で振り込んでください。
(ゆうちょ銀行・郵便局の場合は窓口にて口座からの振り込みのみ可能。)
※ATM, インターネット, コンビニエンスストアからは振り込まないでください。
- ④ 振込に際しての留意事項
ア. 「振込依頼書 (三連)」の依頼人の欄に入学志願者 (本人) の氏名 (漢字, フリガナ), 住所等の必要事項を黒又は青のボールペンで正確に記入してください。
イ. 「検定料振込受付証明書」を受付窓口から受け取る際には、必ず銀行等の振込受付日付印があるかを確認してください。
ウ. 「振込受取書」は本人の受領書になるので大切に保管してください。また、この用紙を「検定料振込受付証明書」の代わりに志願票に貼り付けしないでください。
エ. 振込手数料は、入学志願者本人の負担となります。
- ⑤ 出願時の留意事項
ア. 入学志願票に検定料振込依頼済の「検定料振込受付証明書」を貼り付けた後に、入学志願票の記入誤り等に気付き、やむを得ず新しい入学志願票に書き換えなければならない場合は、振込済の「検定料振込受付証明書」を入学志願票ごと切り取って、新しい入学志願票の所定の欄に貼り付けてください。検定料は二重に振り込まないでください。
イ. 検定料が振り込まれていない場合、又は振込受付日付印のある「検定料振込受付証明書」が入学志願票の所定の欄に貼り付けられていない場合は出願を受理しません。
- ⑥ 検定料の返還に関する留意事項
出願書類を受理した後は、次の場合を除き、いかなる理由があっても振込済の検定料は返還しません。次の該当者は、速やかに本学入試課に問い合わせてください。
ア. 検定料を振り込んだが本学に出願しなかった (出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった) 場合

イ. 検定料を誤って二重に振り込んだ場合

なお、第1次選考（書類選考）で不合格となった場合は、検定料のうち13,000円を返還します。

（4）障害のある入学志願者等の事前相談

本学入学志願者で、疾病・負傷や身体障害等のために、受験上及び修学上の配慮を希望する者は、平成29年8月7日(月)までに本学入試課へ申し出てください。

また、期限後に不慮の事故等により身体に障害を有することとなった場合には、速やかに相談してください。

3. 選抜方法等

受験者は、受験票及び筆記用具等を持参し、各学部が指定する集合場所(裏表紙の建物配置図を参照)に集まってください。

注1) 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始後30分以内の遅刻に限り、受験を認めます。

2) 本学が課す試験を一部でも受験しなかった場合には、失格となります。

3) 計時機能以外の機能をもった時計の使用は認めません。

4) 携帯電話、スマートフォン等の電子機器類は試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し、電源を切っておいてください。試験時間中に、これらをかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っているとな不正行為となることがあります。

5) 試験終了までは、退室を認めませんが、疾病等やむを得ない場合には、挙手して監督者の指示に従ってください。

6) 監督者の指示に従わない場合や、不適切な行為のあった者には退室を命じることがあります。

7) 鉛筆（HBまたはB）、消しゴム、鉛筆削り、時計、メガネ以外のものを机の上においてはけません。

8) 面接の終了時間は、受験者により異なります。

9) 試験当日等に、JR福井駅や試験場周辺で合否電話やメール等の受付を行う者がいても、本学とは一切関係ないので十分注意してください。

（1）第1次選考

提出された志願理由書、自己推薦書、調査書を総合的に評価し、第1次合格者を決定します（書類選考のため、来学する必要はありません）。

（2）最終選考

選考日 平成29年10月7日(土)（9時00分から試験開始）

集合時間 8時～8時20分

集合場所 総合研究棟 I 1階 総合大1講義室

学 科	選 抜 方 法 等	
	試験時間及び試験科目等	第1次選考及び最終選考の結果と提出書類を総合的に評価して合格者を決定します。
電気電子情報工学科	9:00～12:00 面接	第1次選考の合格者に対し、面接（口述試験を含む）を行います。
建築・都市環境工学科	9:00～12:00 プレゼンテーション 13:00～17:00 面接	第1次選考の合格者に対し、課題についてのプレゼンテーションとそれに対するディスカッション、面接（口述試験を含む）を行います。 *昼食を持参してください。昼食は面接控室でのみ可能です。

*電気電子情報工学科の受験者に昼食の持参が必要な場合は、第1次選考の合否結果に添えて通知します。

*建築・都市環境工学科の課題については、第1次選考の合否結果に添えて通知します。

4. 合格者発表等

区 分	合格者発表日時	掲 示 場 所
第 1 次 選 考	平成29年 9 月13日(水)10時	入試課掲示場（裏表紙の建物配置図を参照）
最 終 選 考	平成29年10月18日(水)10時	

- 注1) 合格者の発表は、上記掲示場及び本学ホームページ (<http://www.u-fukui.ac.jp/>) の「受験生の方へ」内に合格者受験番号を発表するとともに、受験者全員に合否の結果を速達郵便で通知します。
- 2) 電話等による合否の問い合わせには一切応じませんが、合格者発表日から1週間を経過しても合否通知が到着しないときは、本学入試課に問い合わせてください。
- 3) A O入試不合格者は、本学を含む、国公立大学の一般入試に出願できます。早めに当該学生募集要項を請求し、必ず本人の責任で確認してください。

5. 入学手続

最終選考合格者には、11月上旬に「入学手続要項」等を送付するので、内容をよく確認して手続を行ってください。

(1) 入学手続期間・方法

入学手続期間 平成29年11月13日(月)～16日(木)

- ① 入学手続書類等は、本学所定の封筒に同封のうえ、本学入試課へ郵送（書留速達）するものとし、入学手続期間内に必着とします（最終日は17時までに必着）。
- ② 期限後に到着したものは、いかなる理由があっても一切受理しないので郵便事情等を考えて早めに送付してください（期間前到着は可、持参提出は不可）。

(2) 入学手続時に要する経費

- ① 入学料 282,000円（予定額）
- ② 授業料 前期分 267,900円【年額535,800円】（予定額）
入学時又は在学中に入学料・授業料改定が行われた場合には、改定時から改定後の額が適用されます。入学料・授業料の納入方法は、合格者に送付する「入学手続要項」で通知します。

(3) 留意事項

- ① 合格者は、入学手続期間内に入学手続を完了してください。
なお、入学手続を完了しない場合は、本学A O入試合格者としての権利を失います。
- ② A O入試の合格者は、入試の趣旨からみて入学手続を行い入学するのが当然であることから、前期・後期日程試験の合格者とはなりません。
入学手続を完了したときは、これを取り消して、他の国立大学へ入学手続をとることは認められません。
ただし、特別な事情により入学辞退の必要が生じ、平成30年2月14日(水)15時までに「A O入試入学辞退願」（具体的な理由を明記し、本人が署名・押印したもの）を本学学長あてに提出し、入学辞退を許可された者を除きます。
- ③ 入学手続において、平成30年度大学入試センター試験出願者は、その受験の有無にかかわらず「平成30年度大学入試センター試験受験票」を提出してください（手続き後、速やかに返却します）。
- ④ 入学前教育の予告
A O入試Iの合格者に対し、スクーリングとレポートを課す予定です（スクーリングは、10月28日(土)に本学で開催予定）。

Ⅲ. A O 入 試 II (大学入試センター試験を課す)

1. 募集人員, 出願資格・出願要件等

学 科	募集人員		出願資格・出願要件
	①	②	
			本学が指定する平成30年度大学入試センター試験の教科・科目を受験し、高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は平成30年3月に卒業見込みの者、かつ、下欄に該当する者で、出願する学科での勉学を強く希望し、合格した場合は入学を確約できる者
機械・システム工学科	4	3	①は、普通科、理数科等の者 ②は、上記以外の者
電気電子情報工学科	10		
建築・都市環境工学科	5		
応用物理学科		若干名	
物質・生命化学科	10	若干名	①は、工業系の学科以外の者 ②は、工業系の学科の者
合 計	29名	3名	

注1) 選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。

- 2) 物質・生命化学科及び応用物理学科の募集人員(若干名)は、一般入試(前期日程)の募集人員に含まれます。
- 3) 入学手続者数が募集人員に満たない場合は、一般入試(前期日程)からその不足分を補充します。
- 4) 高等学校には、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程として認定した在外教育施設を含みます。
- 5) 「工業系の学科」とは、高等学校設置基準(平成16年文部科学省令第20号)第6条第2項第2号に定める「工業に関する学科」のことをいいます(同条第3項に定める「総合学科」で「工業」に関する教科・科目の修得単位数が20単位以上の者を含む)。
- 6) 「普通科、理数科等」とは、高等学校設置基準第6条第1項に定める「普通科」、同条第2項第9号に定める「理数に関する学科」のことをいいます(同条第3項に定める「総合学科」で専門教育に関する教科・科目の修得単位数が20単位未満の者を含む)。

2. 出願手続

(1) 出願期間・方法

平成29年11月22日(水)～11月28日(火) 17時までに必着

- ① 出願書類等は本学所定の封筒に同封のうえ、本学入試課へ郵送(書留速達)するものとし、出願期間最終日の17時までに必着するよう十分配慮し送付してください。ただし、期限後に到着した出願書類等のうち出願期間最終日の2日以前の発信局日付印のある書留速達郵便に限り受理します。持参による出願は認めません。
- ② 郵便局で交付される書留郵便受領証等は、受験票が届くまで大切に保管してください。
- ③ 出願期間終了後に受験票を送付します。12月8日(金)までに受験票が到着しないときは、本学入試課に問い合わせてください。

(2) 出願書類等

*印は本学所定の用紙及び封筒

出 願 書 類 等		留 意 事 項 等
*	入 学 志 願 票	所定用紙に、必ず自書してください。 なお、所定の「平成30センター試験成績請求票 AO 国公立AO入試用」の欄には、本学の出願期間内にセンター試験成績票が届かないため、成績請求票は貼り付けず、提出ください。
*	受 験 票 ・ 写 真 票	縦4 cm×横3 cmの写真（正面向き、無帽、上半身、無背景で出願前3か月以内に撮影したもの）を各1枚貼付してください。
*	志 願 理 由 書	出願する学科のアドミッション・ポリシーを理解したうえで、所定用紙に志願理由を800字程度にまとめ、記述してください。なお、「求める学生像」との関連性も記述してください。
*	自 己 推 薦 書	所定用紙に、出身学校等での生活について、自己PR、自己評価等を記述してください。
	調 査 書	文部科学省所定の様式により、出身学校長が作成し、厳封したものを送付してください。
*	検 定 料 振 込 受 付 証 明 書	17,000円と検定料振込依頼書を持参の上、最寄りの銀行等の窓口で納入し、納入時に発行される「 検定料振込受付証明書 」に「振込受付日付印」が押されていることを必ず確認し、入学志願票の所定の欄にしっかりとり付けしてください。なお、検定料振込期間は平成29年11月13日（月）～11月28日（火）です。詳細は、次の「(3) 検定料の振込方法」を参照してください。
*	返 信 用 封 筒	受験票等を送付する封筒です。 志願者の郵便番号、住所、氏名を明記し、362円分の切手を貼付してください。
*	あ て 名 票	第1次選考及び最終選考の可否通知等の送付に使用するもので、出願後受信場所が変更となった場合は、速やかに連絡してください。
	平成30センター試験 成績請求票 AO 国公立AO入試用	出願書類等を同封する本学所定の封筒とは別に、封筒を各自用意し、平成29年12月15日（金）までに、本学入試課あてに書留速達で郵送してください。 なお、成績請求票の表面の余白には受験番号、志望学科名を記入してください。

注1) やむを得ない事由により調査書が得られない場合は、出願資格を証明する書類及び単位修得証明書等をもって調査書に代えることができます。ただし、出願前に本学入試課に問い合わせ確認してください。

- 2) 出願書類等の受理後は、どのような事情があっても出願書類の返還、並びに記載事項の変更は認められません。
- 3) 出願書類等に不備がある場合は、受理できないことがあるので十分注意してください。
- 4) 出願書類等の記載が事実と相違していることが判明した場合は、入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。

(3) 検定料の振込方法

- ① 検 定 料 17,000円
- ② 振 込 期 間 平成29年11月13日（月）～11月28日（火） *出願期間とは異なります。
ただし、出願は郵送に限り、出願期間最終日17時までに必着であることに特に注意して早めに振り込んでください。
- ③ 振 込 場 所 本学所定の振込依頼書により最寄りの銀行等の窓口で振り込んでください。
(ゆうちょ銀行・郵便局の場合は窓口にて口座からの振り込みのみ可能。)
※ATM、インターネット、コンビニエンスストアからは振り込まないでください。
- ④ 振込に際しての留意事項
 - ア. 「振込依頼書（三連）」の依頼人の欄に入学志願者（本人）の氏名（漢字、フリガナ）、住所等の必要事項を黒又は青のボールペンで正確に記入してください。
 - イ. 「検定料振込受付証明書」を受付窓口から受け取る際には、必ず銀行等の振込受付日付印があるかを確認してください。
 - ウ. 「振込受取書」は本人の受領書になるので大切に保管してください。また、この用紙を「検定料振込受付証明書」の代わりに志願票に貼り付けないでください。

エ. 振込手数料は、入学志願者本人の負担となります。

⑤ 出願に際しての留意事項

ア. 入学志願票に検定料振込依頼済の「検定料振込受付証明書」を貼り付けた後に、入学志願票の記入誤り等に気付き、やむを得ず新しい入学志願票に書き換えなければならない場合は、振込済の「検定料振込受付証明書」を入学志願票ごと切り取って、新しい入学志願票の所定の欄に貼り付けてください。検定料は二重に振り込まないでください。

イ. 検定料が振り込まれていない場合、又は振込受付日付印のある「検定料振込受付証明書」が入学志願票の所定の欄に貼り付けられていない場合は出願を受理しません。

⑥ 検定料の返還に関する留意事項

出願書類を受理した後は、次の場合を除き、いかなる理由があっても振込済の検定料は返還しません。次の該当者は、速やかに本学入試課に問い合わせてください。

ア. 検定料を振り込んだが本学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合

イ. 検定料を誤って二重に振り込んだ場合

なお、第1次選考（書類選考）で不合格となった場合は、検定料のうち13,000円を返還します。

(4) 大学入試センター試験受験票の再発行申請者への注意事項

大学入試センター試験受験票の再発行を申請した場合は、その旨を速やかに本学入試課まで申し出てください。

(5) 障害のある入学志願者等の事前相談

本学入学志願者で、疾病・負傷や身体障害等のために、受験上及び修学上の配慮を希望する者は、平成29年11月8日(水)までに本学入試課へ申し出てください。

また、期限後に不慮の事故等により身体に障害を有することとなった場合には、速やかに相談してください。

3. 選抜方法等

受験者は、受験票、筆記用具及び大学入試センター試験受験票を持参し、集合場所（裏表紙の建物配置図を参照）に集まってください。

注1) 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始後30分以内の遅刻に限り、受験を認めます。

2) 本学が課す試験を一部でも受験しなかった場合には、失格となります。

3) 計時機能以外の機能をもった時計の使用は認めません。

4) 携帯電話、スマートフォン等の電子機器類は試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し、電源を切っておいてください。試験時間中に、これらをかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っているとは不正行為となることがあります。

5) 試験終了までは、退室を認めませんが、疾病等やむを得ない場合には、挙手して監督者の指示に従ってください。

6) 監督者の指示に従わない場合や、不適切な行為のあった者には退室を命じることがあります。

7) 鉛筆（HBまたはB）、消しゴム、鉛筆削り、時計、メガネ以外のものを机上においてはけません。

8) 面接の終了時間は、受験者により異なります。

9) 試験当日等に、JR福井駅や試験場周辺で合否電話やメール等の受付を行う者がいても、本学とは一切関係ないので十分注意してください。

(1) 第1次選考

提出された志願理由書、自己推薦書、調査書を総合的に評価し、第1次選考合格者を決定します（書類選考のため、来学する必要はありません）。

(2) 最終選考

選考日 平成30年1月27日(土) (9時00分から試験開始)

集合時間 8時～8時20分

集合場所 総合研究棟 I 1階 総合大1講義室

第1次選考の合格者に対し、面接(口述試験を含む)を行い、その結果と大学入試センター試験の成績、提出書類を総合的に評価して合格者を決定します。

(3) 大学入試センター試験の教科・科目・配点等

学 科	募集 タイプ	必要と する 教科・ 科目数	本学が受験を課す教科・科目			面接	合計
			教 科	科 目	配点		
機械・システム 工学科	AO入試 Ⅱ ①, ②	1教科 2科目	数学	① 「数学Ⅰ・数学A」	100	○	200
				② 「数学Ⅱ・数学B」	100		
電気電子情報 工学科	AO入試 Ⅱ ①	1教科 2科目 又は 2教科 2科目	数学	① 「数学Ⅰ・数学A」	*250	500	1000
				② 「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」	*250		
			理科②	「物理」	*250		
建築・都市環境 工学科	AO入試 Ⅱ ①	2教科 3科目 又は 3教科 3科目	数学	① 「数学Ⅰ・数学A」	200	500	1000
				② 「数学Ⅱ・数学B」	*200		
			理科②	「物理」	*200		
			国 語	「国語」	*100		
外国語	「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」	から1科目を 選択	*100				
物質・生命 化学科	AO入試 Ⅱ ①, ②	2教科 4科目	数学	① 「数学Ⅰ・数学A」	100	400	800
				② 「数学Ⅱ・数学B」	100		
			理科②	「物理」	*100		
				「化学」	*100		
「生物」	*100						
応用物理学科	AO入試 Ⅱ ②	2教科 3科目	数学	① 「数学Ⅰ・数学A」	100	400	800
				② 「数学Ⅱ・数学B」, 「情報関係基礎」	100		
			理科②	「物理」	200		

- 注1) 本学が課した教科・科目を受験していない者は、AO入試を受験しても失格となりますので、必ず本人の責任で確認してください。
- 2) 受験することを課した教科・科目において、指定された教科・科目数を超えて受験している場合は、大学入試センターからのデータに基づいて高得点の教科・科目の成績を用います。
- 3) 「理科②」の科目において、本学が1科目を課す場合の2科目受験者の成績の利用は、第1解答科目の得点を採用します。
- ・電気電子情報工学科の受験生は、「物理」が第1解答科目でない場合、数①と数②の科目の得点を採用します。
 - ・建築・都市環境工学科の受験生は、「物理」が第1解答科目でない場合、「数学Ⅱ・数学B」の得点を採用します。
 - ・応用物理学科の受験生は、「物理」が第1解答科目でない場合、科目不足で失格となりますので、十分注意してください。
- 4) 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」を選択できる者は、「高等学校若しくは中等教育学校」において、これらの科目を履修した者に限ります。
- 5) 外国語「英語」は、筆記試験とリスニングの合計得点(250点満点)を本学の配点に換算します。ただし、リスニングを免除されている場合には、「英語」の筆記試験の得点(200点満点)を本学の配点に換算します。
- 6) 面接において、配点欄に○とある場合は、点数化しないが総合判定の資料としますので、面接の評価が著しく低い場合には、総合得点にかかわらず不合格とすることがあります。
- 7) *印は選択を示します。

4. 合格者発表等

区 分	合格者発表日時	掲 示 場 所
第 1 次 選 考	平成29年12月25日(月)10時	本学入試課掲示場（裏表紙の建物配置図を参照）
最 終 選 考	平成30年 2 月 6 日(火)10時	

注1) 合格者の発表は、上記掲示場及び本学ホームページ (<http://www.u-fukui.ac.jp/>) の「受験生の方へ」に合格者受験番号を発表するとともに、受験者全員に合否の結果を速達郵便で通知します。

2) 電話等による合否の問い合わせには一切応じませんが、合格者発表日から1週間を経過しても合否通知が到着しないときは、本学入試課に問い合わせてください。

3) A O入試不合格者は、本学を含む、国公立大学の一般入試に出願できます。早めに当該学生募集要項を請求し、必ず本人の責任で確認してください。

5. 入学手続

最終選考合格者には、合格通知書とともに「入学手続要項」等を送付するので、内容をよく確認して手続を行ってください。

(1) 入学手続期間・方法

平成30年 2 月 9 日(金)～14日(水) 17時までに必着

- ① 入学手続書類等は、本学所定の封筒に同封のうえ、本学入試課へ郵送（書留速達）するものとし、入学手続期間内に必着とします。
- ② 期限後に到着したものは、いかなる理由があっても一切受理しないので郵便事情等を考えて早めに送付してください（期間前到着は可、持参提出は不可）。

(2) 入学手続時に要する経費

- ① 入学料 282,000円（予定額）
- ② 授業料 前期分 267,900円【年額 535,800円】（予定額）

入学時又は在学中に入学料・授業料改定が行われた場合には、改定時から改定後の額が適用されます。入学料・授業料の納入方法は、合格者に送付する「入学手続要項」で通知します。

(3) 留意事項

- ① 合格者は、入学手続期間内に入学手続を完了してください。
なお、入学手続を完了しない場合は、本学A O入試合格者としての権利を失います。
- ② A O入試の合格者は、入試の趣旨からみて入学手続を行い入学するのが当然であることから、前期・後期日程試験の合格者とはなりません。
入学手続を完了したときは、これを取り消して、他の国立大学へ入学手続をとることは認められません。
ただし、特別な事情により入学辞退の必要が生じ、平成30年 2 月14日(水)15時までに「A O入試入学辞退願」（具体的な理由を明記し、本人が署名・押印したもの）を本学学長あてに提出し、入学辞退を許可された者を除きます。
- ③ 入学手続において、「平成30年度大学入試センター試験受験票」を提出してください。
（手続き後、速やかに返却します）
- ④ 入学前教育の予告
A O入試Ⅱの入学手続者に対し、レポートを課す予定です。

Ⅳ. 個人情報の利用

出願書類等に記載された個人情報（成績判定に関する情報を含む）は、①入学試験の実施、②入学手続、奨学金等の制度の運用、③入学者の受入準備、④入試の改善や志願動向等の調査に使用する目的をもって福井大学が管理します。この目的の範囲内で福井大学の教職員が利用する場合及び本人の同意を得た場合のほかは、次に掲げる場合を除き、原則として、他の目的で利用又は福井大学の教職員以外に提供することはありません。

- 1) 捜査機関が捜査上必要とした場合等、行政機関等が法令に定める業務等を行うに必要な限度で利用することについて相当の理由があるときに、当該行政機関に個人情報を提供する場合
- 2) 提出された出願書類等の個人情報を電算処理する場合で、当該電算処理に係る業務を外部の業者等に行わせるために当該業者に対する個人情報の提供が必要となった場合（なお、この場合には、当該業者に対して個人情報保護法の趣旨に則った保護管理の業務を契約により課すこととなります。）
- 3) 提出された出願書類等の個人情報を、当該本人の権利利益を不当に侵害するおそれがない場合で、学術研究の目的のために提供する場合

なお、国公立大学の一般入試における合格決定業務を円滑に行うため、AO入試の合格及び入学手続き等に関する個人情報（氏名及び大学入試センター受験番号に限る）を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達します。

【問い合わせ先】 福井大学学務部入試課

V. 入学志願者のための案内

1. 工学部

福井大学工学部は、5学科からなる日本有数の大規模な工学教育研究機関です。工学の殆どの分野を網羅し、日々進化する工学にすばやく対応して、皆さんのどのような期待にも応えるでしょう。学部学生定員は525名、3年次編入学生定員40名の合計565名です。学生の50%以上が進学する大学院工学研究科は、博士前期課程10専攻、後期課程1専攻からなり、そこでは、さらに高度な世界水準の教育研究が行われています。全国各地から集まった学生の総数は、現在3,155名に達し、同じキャンパスで、学科・専攻や学年を超え、お互いに切磋琢磨しながら楽しい大学生活を送っています。

福井大学工学部・大学院工学研究科の理念は、Global IMAGINEERの育成です。こころに夢を描き(IMAGINE)、それをかたちにする技術者(ENGINEER)として社会に貢献する研究開発能力を備えた高度専門技術者を育成することです。夢を形にするためには、最先端の専門的な知識や技術を習得するだけでなく、常に自らを批判的に省み、自分の能力を高め、創造力を育む必要があります。さらに、社会に貢献するためには、広い教養を身につけ、多くの人と関わる積極性とコミュニケーション能力を磨かねばなりません。そのために工学部には色々な教育プログラムが組まれています。例えば、専攻した学科以外の学科の専門科目を自由に履修することも可能です。特に系統的に履修した場合には、その分野を副専攻としたことを認定します。また、工学部先端科学技術育成センターでは最新の設備を整え、学生が学科や学年を超えてグループを構成し、創造的・学際的なモノづくりや調査・研究プロジェクトに取り組むことを支援しています。このような本学部の教育は、大学外の専門家による評価も高く、文部科学省が全国の大学から優れた教育を選ぶ「特色ある大学教育支援プログラム」や「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」にも採択されています。

【工 学 部】

機械・システム工学科

電気電子情報工学科

建築・都市環境工学科

物質・生命化学科

応用物理学科

【大 学 院】

工学研究科博士前期課程

機 械 工 学 専 攻

電 気 ・ 電 子 工 学 専 攻

情 報 ・ メ デ ィ ア 工 学 専 攻

建 築 建 設 工 学 専 攻

材 料 開 発 工 学 専 攻

生 物 応 用 化 学 専 攻

物 理 工 学 専 攻

知 能 シ ス テ ム 工 学 専 攻

繊 維 先 端 工 学 専 攻

原 子 力 ・ エ ネ ル ギ ー 安 全 工 学 専 攻

【大 学 院】

工学研究科博士後期課程

総 合 創 成 工 学 専 攻

大学院工学研究科においては、平成14年度にファイバーアムニティ工学独立専攻が、平成15年度には知能システム工学専攻が、また、平成16年度には原子力・エネルギー安全工学独立専攻が設置され、博士前期課程10専攻、平成18年度には原子力・エネルギー安全工学専攻の博士後期課程が設置され、博士後期課程4専攻となりました。平成25年度からは、実践性、学際性を備えた高度専門技術者に対する社会のニーズに応えるため、ファイバーアムニティ工学専攻を繊維先端工学専攻に、博士後期課程4専攻を総合創成工学専攻の1専攻に改組を行い、科学技術教育研究の最先端学府としての役割を名実ともに果たしています。

○学位及び教員免許状

工学部の卒業者は学士（工学）の学位が授与されます。また、所定の単位を修得すれば次の免許状を取得できます。

学 科 名	高等学校1種
機械・システム工学科	工業
電気電子情報工学科	工業
建築・都市環境工学科	工業
物質・生命化学科	理科
応用物理学科	理科

2. 入学時の諸経費

(1) 入学科料、授業料

種 別	金 額	備 考
入学科料	282,000円 (予定額)	入学時1回限り
授業料	年額 535,800円 (予定額)	年2回（前期4月、後期10月）に分けて納入してください。また、申し出により前期分を納入の際に後期分（前期と同額）も一括して納入することができます。なお、在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

① 入学科料免除・徴収猶予

入学前1年以内において、本人の学資を主として負担している者（学資負担者）が死亡若しくは失職（定年退職、自己都合退職を除く）した者、又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより、入学科料の納付が困難であると認められる者に対しては、申請により選考の上でその全額又は半額を免除することがあります。

また、経済的理由により入学科料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる者に対しては、申請により選考の上、入学科料の徴収を猶予することがあります。

② 授業料免除

経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者、又は入学前1年以内において、本人の学資を主として負担している者（学資負担者）が死亡若しくは失職（定年退職、自己都合退職を除く）した者、又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより、授業料の納付が困難であると認められる者に対しては、申請により選考の上でその全額又は半額を免除することがあります。

(2) 保険

傷害保険及び賠償責任保険

本学では、教育研究活動中の事故を補償するために、入学時に学生全員が何らかの傷害保険及び賠償責任保険に加入することを原則としています。

下記は、大多数の国公立大学が日本国際教育支援協会の賛助会員となり、低廉な保険料で学生に提供している保険です。

学生教育研究災害傷害保険（通学特約付）	保険料	4年間分	2,650円
学研災付帯賠償責任保険	保険料	4年間分	1,360円

3. 学生生活

(1) 奨学金制度

大学・大学院に在学する学生で、人物・学業ともに優秀かつ健康であり、経済的理由により修学が困難と認められる者に対しては、独立行政法人日本学生支援機構や都道府県・市町村等の地方公共団体、公益法人の奨学金・育英会の奨学制度があります。

○ 独立行政法人 日本学生支援機構の奨学金

「第一種奨学金（無利子）」と「第二種奨学金（有利子）」があり、経済状況や学業成績をもとに採用者を決定します。「第一種奨学金」に比べて「第二種奨学金」は採用条件が緩和されています。

なお、日本学生支援機構が定める学業成績・収入基準を満たす場合には、「第一種奨学金」及び「第二種奨学金」の併用貸与を受けることもできます。

日本学生支援機構奨学金は貸与型の奨学金なので、卒業又は退学後は必ず返還しなければなりません。

※平成29年度より給付型奨学金も創設されました。

種類及び貸与月額

〈学部学生〉

奨学金の種類	貸与月額	備考
第一種奨学金	自宅通学者45,000円 自宅外通学者51,000円, 又は、30,000円の何れかを選択	無利子
第二種奨学金	希望する月額を次の中から選択 30,000円、50,000円、80,000円、 100,000円、120,000円	有利子（在学期間中は無利子） 利率の算定方法は「固定方式」、 又は「見直し方式」より選択

記載の内容は、平成29年5月現在のものです。

貸与の基準や金額等については変更される場合がありますので、奨学金の利用を予定している年度の開始前（3月初旬以降）に、日本学生支援機構のHPにて改めて確認してください。

日本学生支援機構ホームページ <http://www.jasso.go.jp/>

○ 大学独自奨学金

◆福井大学生修学支援奨学金

授業料免除申請者（外国人留学生を除く）で、審査の結果半額免除となった学生のうち、経済的に困窮度の高い順に選定し、10万円が給付されます。なお、この奨学金は給付型の奨学金で、返還の必要はありません。（対象者に、大学院学生を含む）

◆福井大学生協奨学金

福井大学生協同組合からの寄附金による奨学制度です。授業料免除申請者（外国人留学生を除く）で、審査の結果半額免除となった学生のうち、経済的に困窮度の高い順に選定し、10万円が給付されます。なお、この奨学金は給付型の奨学金で、返還の必要はありません。

○ 都道府県・公益法人等の奨学金

これらの奨学金については、奨学生の募集がある場合に学内掲示板で案内しますので、申請を希望する学生は、奨学金窓口にお問い合わせください。

*奨学金制度等を利用する際に、入学試験の成績や出身学校長から提出された調査書を必要とする場合には、各奨学団体等へこれらの情報を提示する場合があります。

(2) 課外活動

正規の教育課程のほかに、学生が豊かな情操を養い、体力を鍛え、将来社会において役立つ経験を積むため、教育の一環としてクラブ活動を認め、かつ、奨励しています。

(3) 健康診断

健康管理のため、文京キャンパスに保健管理センターがあり、健康について医師等の診断や相談を受けることができます。

また、学生の定期健康診断は、春期に行っています。

(4) 相談窓口

履修、生活、就職、人間関係など学生生活の中でのいろいろな問題について、相談に応ずる体制が整っています。

(5) 学生宿舎

本学には、次のような学生宿舎があります（外国人留学生との混在で、男女は階別）。

11月上旬に大学のホームページに入居者募集要項を掲載しますので、入居希望者は内容をよく確認し、入居申請準備をしてください。

名 称	定 員	新入生入居 募集人員	構 造	室定員	寄 宿 料	光熱水料等	所 在 地
国際交流 学生宿舎	209人	約30人	鉄筋コンク リート 5階建1棟 4階建2棟	1人	月額 4,700円	月額 約10,000円	福井市文京5-13-10 (文京キャンパスから 徒歩約8分)

(6) その他


よりよい学生生活のために食堂、売店などの福利厚生施設があります。また、遠隔地の学生のために下宿・アパート等の紹介を行っています。

詳細は、福井大学生生活協同組合（電話0776-21-2956）にお問い合わせください。

Ⅵ. 学生募集要項等の請求方法

1. テレメールによる請求方法

(1) 福井大学ホームページ（パソコン）からの請求方法

本学ホームページ（<http://www.u-fukui.ac.jp/>）「受験生の方へ」内の「入試資料の請求方法」から  テレメールにアクセスしてください。

※本学ホームページ内の「受験生の方へ」では大学の概要や入試情報等も紹介しています。

(2) テレメールホームページ（パソコン・携帯電話・スマートフォン）または自動音声応答電話による請求方法

① 下記のいずれかの方法で テレメールにアクセスしてください。

インターネット （パソコン・携帯電話・スマートフォン）	http://telemail.jp	 携帯電話・スマートフォンなら、QRコードを読み取るだけでアクセスできます。
自動音声応答電話	IP電話 050-8601-0101 （24時間受付） ※一般電話回線からの通話料金は、日本全国どこからでも3分毎に約11円です。 ※住所・氏名等の登録時は、ゆっくり・はっきりと話してください。 登録された音声の不鮮明な場合は、電話で住所・名前を確認することがありますので、電話番号は必ず登録してください。	

② 請求を希望する資料請求番号（6桁）を入力してください。

資 料 名	資料請求番号
AO入試学生募集要項+AO入試案内	5 4 3 2 6 2
大学案内	5 6 3 2 5 2

③ ガイダンスに従って申し込んでください。

- ・ 請求してから2～3日後に資料が届きます。
 受付時間や地域、配達事情によっては到着まで4日以上かかる場合もあります。

- ・ 送料は資料に同封されている支払方法に従い、表示料金を支払ってください。

（支払いに際して手数料が別途必要になります。）

- ・  テレメールでの請求についての問い合わせ先

テレメールカスタマーセンター TEL 050-8601-0102（9：30～18：00）

2. 大学への請求方法（できるだけ テレメールで請求してください。）

「AO入試募集要項請求」と明記し、送付先（請求者）の郵便番号、住所、氏名、電話番号を書いて学務部入試課へメールまたはFAXにより申し込んでください。

「ゆうメール」の着払いで送付します。

E-mail : g-nyusi@ad.u-fukui.ac.jp

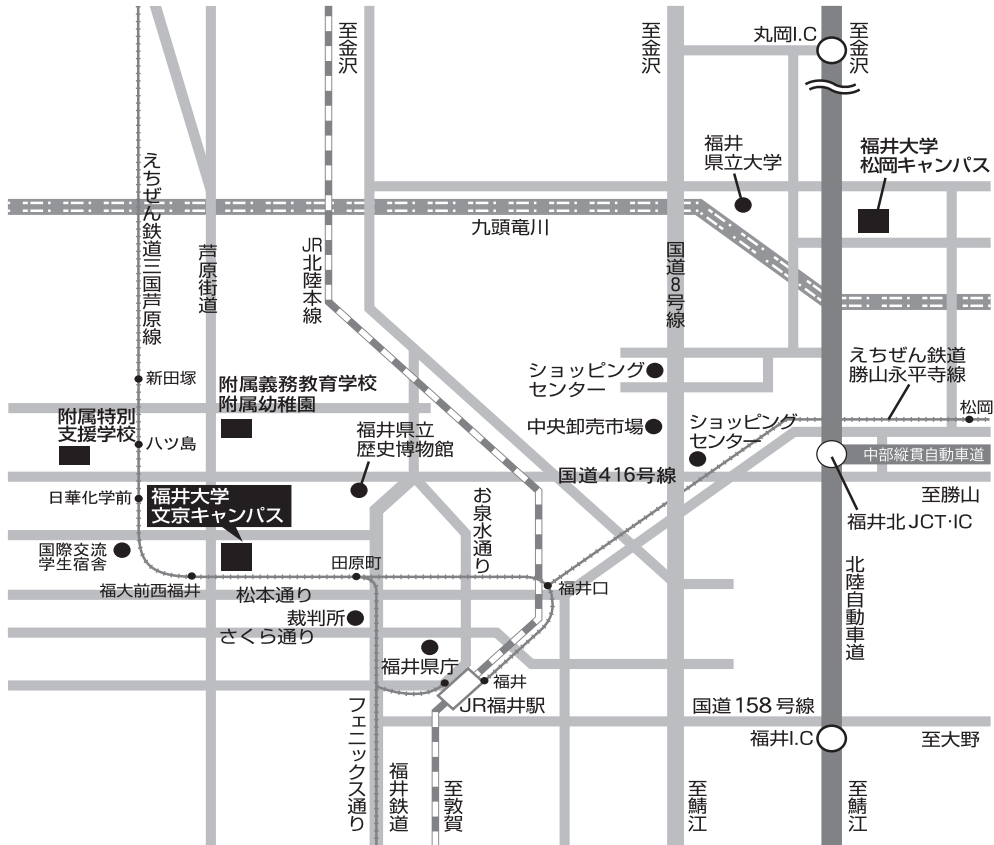
FAX : 0776-27-8010

3. 窓口での請求方法

本学窓口で配付します。（祝日を除く月～金曜日の9：00～17：00）

文京キャンパス：福井市文京3-9-1 福井大学学務部入試課

福井大学文京キャンパス位置図



文京キャンパスへの経路

- バス J R 福井駅-(約10分)-福井大学前下車
[J R 福井駅西口から出て市内バス乗り場2番から]
<http://bus.keifuku.co.jp/>
- 鉄道 えちぜん鉄道福井駅-福大前西福井駅下車
[J R 福井駅東口から出て三国芦原線で約10分]
*西口前の福井鉄道(路面電車)ではありません。
<http://www.echizen-tetudo.co.jp/>
- タクシー J R 福井駅-(約10分)-福井大学文京下車
[必ず「福井大学文京キャンパス」と伝えてください]
- 北陸自動車道 福井北JCT・ICから国道416号線で西へ約7km
福井ICから国道158号線で西へ約8km

交通機関(時刻表等)

J R 西日本	http://www.jr-odekake.net/
京福バス	http://bus.keifuku.co.jp/
えちぜん鉄道	http://www.echizen-tetudo.co.jp/

福井へのアクセス

大阪・京都方面から

- JRで 大阪・京都-湖西線経由-福井
(特急で、京都から約1時間30分、大阪から約2時間)
- 自動車で 大阪・京都-<名神>-米原JCT-<北陸>-福井IC・福井北JCT・IC 京都から約2時間、大阪から約2時間30分)
- 高速バスで 大阪・京都-<名神・北陸>-福井
(京都から約2時間30分、大阪から約3時間30分)

名古屋・静岡方面から

- JRで 名古屋・静岡-米原経由-福井
(名古屋から新幹線・特急で約1時間40分、特急で約2時間)
- 自動車で 名古屋-<名神>-米原JCT-<北陸>-福井IC・福井北JCT・IC (約2時間)
- 高速バスで (名古屋-<名神・北陸>-福井(約2時間50分))

東京方面から

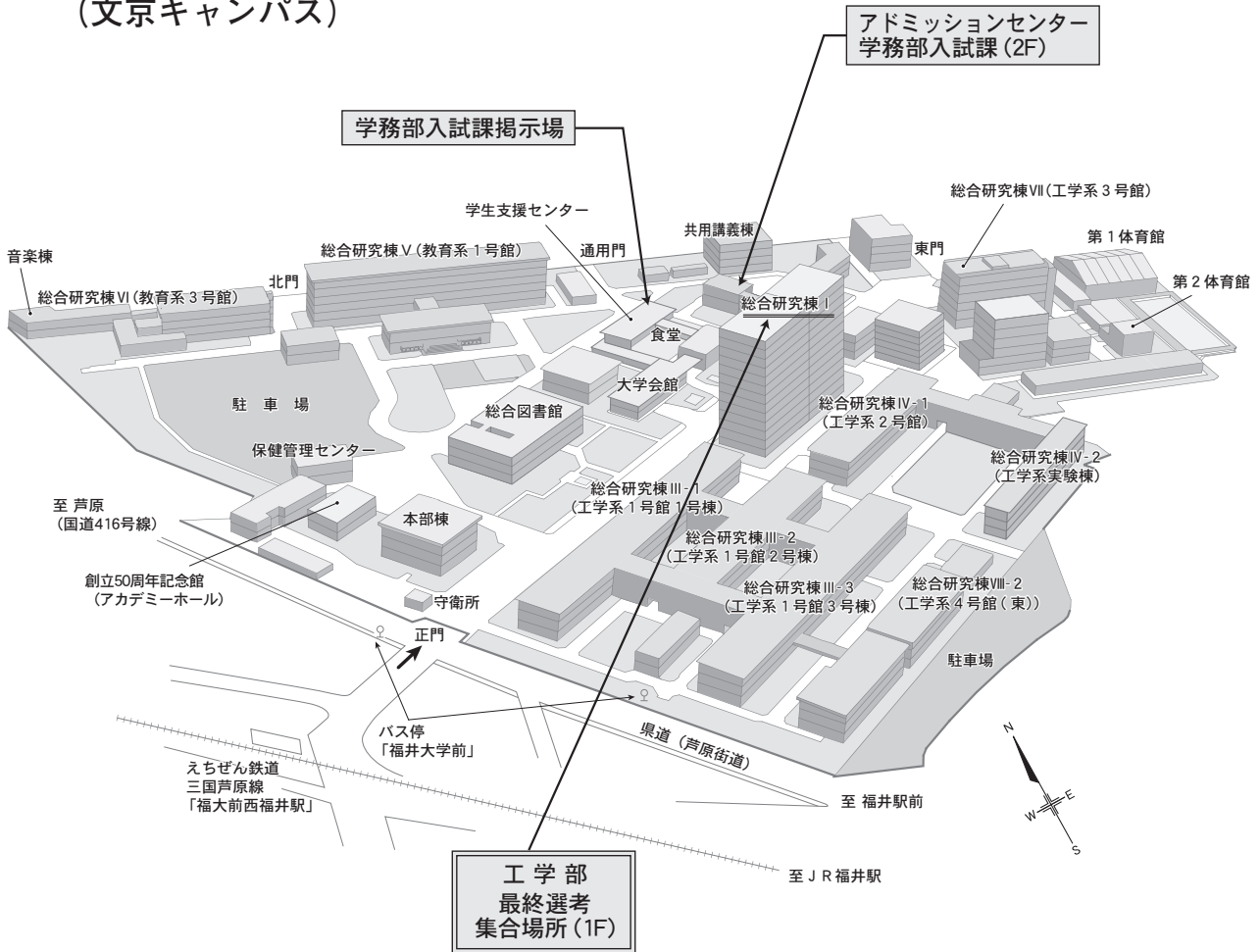
- 飛行機で 東京羽田-小松空港(1時間)-福井(連絡バス1時間)
- JRで 東京-米原経由-福井(新幹線・特急3時間30分)
- 自動車で 東京-<東名・名神>-米原JCT-<北陸>-福井IC・福井北JCT・IC
(約6時間30分)
※高速バスもあります。

金沢・新潟方面から

- JRで 金沢・新潟-福井(金沢から特急で約40分)
- 自動車で 金沢-<北陸>-丸岡IC・福井IC (約1時間)



福井大学建物配置図 (文京キャンパス)



《受験に関する問い合わせ先》

福井大学アドミッションセンター

〒910-8507 福井市文京3-9-1
TEL 0776-27-9890

福井大学学務部入試課

〒910-8507 福井市文京3-9-1
TEL 0776-27-9927

<注意>

- ・本入試に関するすべての事項は、志願者本人がこの学生募集要項を熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。
- ・この学生募集要項以外に重要な通知がある場合は、本学ホームページの「受験生の方へ」内でお知らせします。〔ホームページ <http://www.u-fukui.ac.jp/>〕
- ・電話での照会は、祝日及び年末年始を除く、月～金曜日の9:00～17:00に、この学生募集要項を手元に置き、必ず志願者本人が行ってください。